

地区委員会だより

町田市青少年健全育成 鶴川第一地区委員会

発行責任者 中溝 孝夫

「金井中学校教育活動の三本柱」

町田市立金井中学校 校長 松岡 健



令和6年度(2024年度)より金井中学校の校長として着任をいたしました松岡 健(まつおか けん)です。日頃より生徒が地域で大変お世話になっております。

さて、金井中学校の特色ある教育活動が3つあります。(これを金井中学校のABCと呼んでいます。)1つめは、「A: アンガーマネジメント」です。怒りをコントロールし、健全な人間関係の構築といじめの未然防止を念頭に年に5回授業をしています。2つめは「B: プリッティッシュヒルズでの国内英語留学」です。2年生の2学期に福島にある施設へ出向き、英語漬けの移動教室を実施しています。国際社会に順応するための第一歩となります。3つめは、「C: キャリア教育の充実」です。地域等、学校外の方々を積極的に招聘し、将来につながる取り組みを数多く実施しています。学校公開等の機会にぜひ参観ください。



本校は、昭和59年に開校し、今年創立40周年を迎えることとなりました。諸事情により記念式典等は実施いたしません。先日、金井獅子舞保存会の方々に獅子舞を披露していただきました。地域の伝統文化を継承と創造をしていく意識を高めたところです。



今後とも、地域の方と手を取り合って、教育活動を進めてまいります。ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

2024年度イベントカレンダー

◆役員会 6回 ◆地区委員会 2回

4月 つるっこアニバーサリー

10月 うどん作り(金井小)

12月 蕨すぐり

しめ飾り作り(大蔵小学校)

2月 ポッチャ体験会(鶴川第一小)

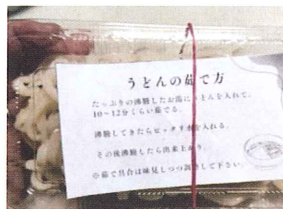
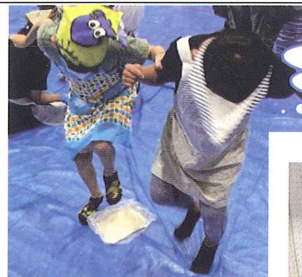
3月 委員研修会 埼玉県の渋沢栄一記念館見学他



うどん作り大会：10月19日（日）金井小学校体育館にて

秋とはいえ季節外れの暑さの中、地域の子どもから大人まで 265 名の参加で大盛況となりました。今年は、受付から製麺までをスムーズに体験できるように工夫しました。4～5 名がひとグループになり、粉と水を混ぜるエリア、「おいしくな～れ ♪ おいしくな～れ ♪」と声をかけながら踏むエリア、ハンドルを回しながら機械で製麺するエリア、と、それぞれの指導者に助言をもらいながら楽しいうどん作り大会になりました。

また、この日のために、9月22日には、金井クラブで事前研修をしました。



しめ飾り作り：12月8日（日）：大蔵小学校体育館にて

冬らしい冷え込みの朝にもかかわらず、9 時の受付前から徐々に人が集まり始め、入り口で一人ずつ藁を受け取り、受付をし、9 時半には体育館に敷いたブルーシートの上が人と藁でいっぱいになりました。この日の参加者は 129 名でした。指導者から地域の伝統的なしめ飾りの作り方を教わって、難しい「藁を絢(な)う」に取り組みました。家族や親子でお互いに助け合いながら一所懸命に作ったしめ飾りは気持ちがこもって良い新年を迎えられたことでしょう。

また、この日のために、しめ飾りづくりには欠かせない「わらすぐり」を 11 月 30 日（土）に小野路で行い、PTA の担当委員さんたちと一緒に、準備としめ飾りの事前体験をしました。



ボッチャ体験会：2月22日（土）：鶴川第一小学校体育館にて

2月にしては少し暖かい休日。正規のコートサイズに近いコートを作り、準備万端。午後1時受付開始。事前に申し込みがあった子どもたちと保護者、野津田学童保育クラブからも11名の参加者があり、16名の子どもたちと、保護者、PTA、鶴川第一小学校校長先生も一緒に参加してくださり、2チームにわかれて、一人一個ずつのボッチャボールをもってゲームをしました。ボッチャを知らなかった子どもたちも、回を重ねるごとにルールを理解し、ボールの投げ方を工夫したり、採点の際にはのぞき込んで見守ったりして、終始楽しい時間を過ごすことができました。



校長先生の投球に息をのむ！



力の弱い子には
ランプを使います。



採点は慎重に



ジャンケンポンで
先攻決め



会の終わりは、
手話歌
『手のひらを太陽に ♪』



「大人と子どもの笑顔あふれる

学校づくりをめざして」

町田市立金井小学校 校長 須藤 潤一郎



金井小学校校長の須藤 潤一郎(すどう じゅんいちろう)と申します。金井小学校に今年度着任いたしました。この度、皆様に金井小学校を知っていただく機会を中溝会長からいただき、感謝申し上げます。これまで私は、町田市とは直接のかかわりが無い教員人生でした。しかし着任して間もなく 1 年になりますが、とても町田が好きになりました。それは地域の温かさを感じたからです。もちろん今までお世話になった地域にも温かさを感じることはありましたが、昨年の4月から多くの皆様と話をすることで、子どもたちを『地域の子』として考えてくださっていることが、一番うれしかったことが町田を好きになった理由です。私はこれからも校長として、歴代校長先生の思いを受け継ぎ、町田愛、金井愛をもって子どもたちに向き合っていきたいと思っています。金井小学校で大切にしていることを紹介いたします。

<学習>

子どもたちが自分で勉強を進められるようになるために、授業改善や子どもたちの学び方を工夫しています。時間はかかりますが、子どもも大人も地道に頑張っています。



<異学年交流>

6年生をリーダーとして、異学年で活動します。普段の生活でも高学年がよく低学年のお世話をしています。

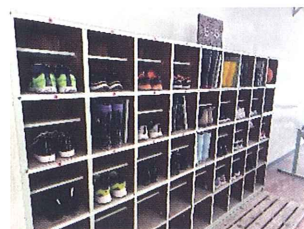


<挨拶運動>

年間を通して代表委員が校門や玄関に立ち、あいさつをしています。昼の放送で毎日素敵な挨拶をした子を6名紹介しています。

<整理整頓>

学校の顔となる玄関の靴箱、傘立ての整頓などの環境美化を子どもたちが意識して整えています。雨の日もきれいに整っていて気持ちの良い玄関です。



このことを教職員と子どもたちで大切にして毎日を過ごしています。ぜひご来校の際には、金井小学校の子どもたちに声をかけていただければと思います。そして、学校として、地域の皆さんの役に立てることはないかということについても考えていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

青少年健全育成地区委員会は、地域自治会・町内会、幼稚園・保育園、小・中・高校、PTAや各団体などが定期的に情報交換をし、協力して子どもたちの健やかな成長のためにさまざまなお手伝いしています。